

市政記者各位

## 福岡アジア美術館のアーティスト・イン・レジデンス事業 が本格始動!

～福岡から世界へ! 羽ばたけアーティスト!!～

Fukuoka Art Nextの一環として、福岡アジア美術館のアーティスト・イン・レジデンス事業を今年度から拡充。招聘アーティストが年に2名から8名に増え、7月より本格的にスタートします。

この事業では、国内外のアーティストを一定期間招聘し、福岡での創作活動や作品発表等の様々な機会を提供することで、アーティスト同士が刺激し合って成長し、福岡から世界に羽ばたくことを支援します。また、市民との美術交流を推進することにより、現代アートや異文化に対する理解を醸成し、地域文化の質的向上に努めます。

### ① 第I期アーティストの来日

- ・イ・ビョンチャン氏（韓国、1987年生まれ）
- ・リーロイ・ニュー氏（フィリピン、1986年生まれ）
- ＊7月下旬から10月までの90日間、アジア美術館交流スタジオを拠点に制作。

(参考写真)



イ・ビョンチャン  
《生き物》  
2019年



リーロイ・ニュー  
《キメラ》2009年

### ② 第II, III期アーティストの決定

II, III期は国内外から公募した結果、312組のアーティストから応募がありました。選考の末、**II期3名、III期3組の計6組のアーティストの招聘を決定**。8月下旬に開設される Artist Café Fukuoka（旧舞鶴中学校校舎）のスタジオを拠点に制作。

- ・II期（9-12月）：大西康明（日本）、ソー・ソウエン（福岡）、ケン・ジェシェン（台湾）
- ・III期（来年1-3月）：下寺孝典（日本）、長野櫻子（福岡）、ドクペルー（ペルー）

### ③ レジデンス事業に関する大学との連携

九州大学、九州産業大学と連携をはかり、アーティストの成長支援に取り組みます。

上記内容の詳細を、本日15時よりアジア美術館アートカフェにて発表します。ぜひご参加ください。

レジデンスアーティストであるイ・ビョンチャンさん、リーロイ・ニューさん、長野櫻子さん、および九州大学の牧野豊准教授、九州産業大学のロバート・プラット教授をゲストとして呼びしております。各ゲストからのコメントもあります。取材よろしくお願いたします。

#### 【問い合わせ先】

福岡アジア美術館 学芸課 交流・教育係  
TEL 092-263-1106 担当: 山口、中尾